

外部スピーカー

# SP-990

## 取扱説明書

# KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

© B62-2383-00

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
取扱説明書は、ご使用前に必ずお読みになり、大切に保管してください。

### 安全上のご注意

#### 絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



**警告**

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例

- △記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。
- ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。
- 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は AC プラグをコンセントから抜く）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 警告

- 本機は調整済です。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手でケーブル類やコネクタに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 万一、異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態になった場合は、すぐに無線機の主電源を切り、煙や変な臭いなどがなくなったことを確認の上、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

### 注意

- 直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所には設置しないでください。内部の温度が上がると、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所、ほこりが多い場所、風通しの悪い場所、タバコの煙が多い場所には設置しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には設置しないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 水滴が付いたら、乾いた布でふきとってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。

### 主な特長

本機は、HF/ 50 MHz トランシーバー TS-990S/D との組合せに最適な外部スピーカーです。

直径 100 mm の大口径フルレンジスピーカーを採用し、ハイカット・ローカットそれぞれ 3 種類のオーディオフィルターを搭載。ミュートボタンによりワンタッチでミュートをかけることが可能です。

### 付属品

接続ケーブル (モノラルフォン 3.5Φ) .....	1
取扱説明書 (本書) .....	1
保証書 .....	1

### 仕様

使用温度範囲 .....	-10℃ ~ 50℃
最大入力 .....	5 W
入力インピーダンス .....	8 Ω ± 15 %
フィルター カットオフ周波数	
HIGH 1 .....	2.4 kHz/ -3 dB
HIGH 2 .....	1.0 kHz/ -3 dB
HIGH 1+2 .....	700 Hz/ -3 dB
LOW 1 .....	200 Hz/ -3 dB
LOW 2 .....	400 Hz/ -3 dB
LOW 1+2 .....	600 Hz/ -3 dB
外形寸法 (幅×高×奥行) <突起物を含まず> .....	200×165×300 mm
質量 .....	約 2.8 kg

### アフターサービスについて

アフターサービスについては、お買い上げの販売店、当社サービスセンターにご相談ください。

#### 保証書 (別添)

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

#### 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より 1 年間です。

商品および商品に関するお問い合わせは JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル ☎ 0120-2727-87

<発信番号が非通知の場合は、『0120』の前に『186』をつけてからおかけください。電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。>

携帯電話・PHS・一部の IP 電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合は、045-450-8950

F A X 045-450-2308

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

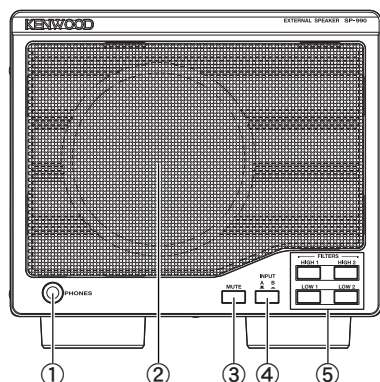
受付日 月曜日～土曜日 (祝日・弊社休日を除く)

受付時間 月～金曜日 9:30～18:00

土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

## 各部の名称と機能

### 前面パネル



#### ① PHONES ジャック

ヘッドホンを接続します。4 ~ 32 Ωのヘッドホンに対応しています。フィルターをオンにした時は、フィルターを通った出力になります。なお、ヘッドホンヘッドホン端子に接続すると、スピーカーから音は出力されません。

#### ② SPEAKER

口径 100 mm、8 Ωの無線通信の受信に適したスピーカーです。

#### ③ MUTE ボタン

押すとスピーカーからの出力をミュート(消音)します。スピーカーからの音を一時的にオフにする時に使います。オフの時にもう一度押すとオンに戻ります。

#### ④ INPUT A/B ボタン

入力 A と B を切り替えます。押すと B 入力になり、もう一度押すと A 入力に戻ります。

#### ⑤ FILTERS ボタン

##### FILTERS HIGH 1 ボタン

このフィルターをオンにすると、2.4 kHz 以上が減衰します。(2.4 kHz/-3 dB)

##### FILTERS HIGH 2 ボタン

このフィルターをオンにすると、1.0 kHz 以上が減衰します。(1.0 kHz/-3 dB)  
また、FILTER HIGH 1 と両方同時にオンにすると、700 Hz 以上が減衰します。(700 Hz/-3 dB)

##### FILTERS LOW 1 ボタン

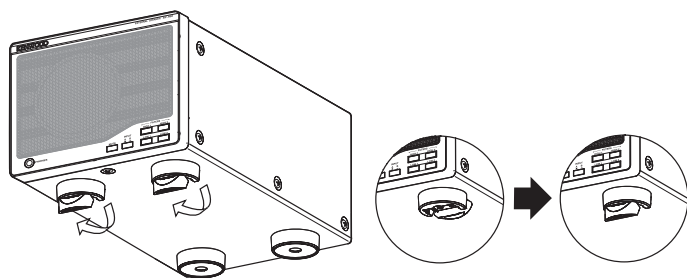
このフィルターをオンにすると、200 Hz 以下が減衰します。(200 Hz/-3 dB)

##### FILTERS LOW 2 ボタン

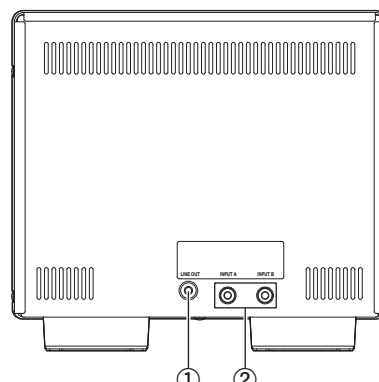
このフィルターをオンにすると 400 Hz 以下が減衰します。(400 Hz/-3 dB)  
また、FILTER LOW 1 と両方同時にオンにすると 600 Hz 以下が減衰します。(600 Hz/-3 dB)

### 前脚

本機下側の前脚に補助脚が格納されています。前面パネルをやや上向きにしたいときは、補助脚を手前に引いてください。補助脚を引き出す時は、指を挟まれないよう十分ご注意ください。



### 背面パネル



#### ① LINE OUT 端子

ライン出力端子です。受信音の録音やデータ通信などに使用します。フィルターをオンしているときはフィルターを通った出力となります。インピーダンスは約 1 kΩ です。

#### ② INPUT A/B 端子

INPUT A と INPUT B 端子に無線機を接続し、前面パネルのスイッチで切り替えます。TS-990 の場合、EXT SP 1 または EXT SP 2 端子と接続します。TS-990 だけではなく別の無線機を接続して音声入力を切り替えることができます。

### フィルターの使い方

本機のフィルターは、組み合わせによって、各種電波型式に適したものを選択できます。

下記は、各モードに対する設定の一例です。

SSB の場合、通常は HIGH 1 の使用をお奨めします。雑音が多い場合は、LOW 1 または LOW 2 と組み合わせます。さらに効果を上げるには、HIGH 2 と LOW 2 を組み合わせてください。

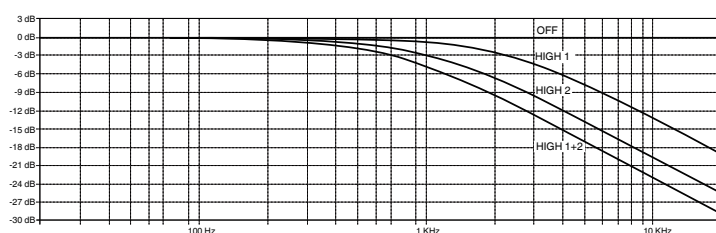
CW の場合、HIGH 1/ HIGH 2 を同時にオンにした上で、LOW 1 や LOW 2 を組み合わせる使うのが適当です。ただし、無線機本体で狭帯域の IF-DSP フィルターや APF を使用している場合、本機のオーディオフィルターの効果ははっきりわからないことがあります。雑音成分を少なくする効果があります。

AM や FM の場合、通常はフィルターをオフにして帯域幅を広くしておきます。雑音によっては HIGH 1 をオンにしてください。

### フィルターの動作説明

1. HIGH 1 と LOW 1 とを同時にオンにしたとき、約 200 Hz ~ 2.4 kHz の周波数帯域になります。
2. HIGH 1 と LOW 2 とを同時にオンにしたとき、約 400 Hz ~ 2.4 kHz の周波数帯域になります。
3. HIGH 2 と LOW 2 とを同時にオンにしたとき、約 400 Hz ~ 1.0 kHz の周波数帯域になります。
4. HIGH 1/ HIGH 2 と LOW 1/ LOW 2 の全てを同時にオンにしたとき、約 600 Hz ~ 700 Hz の周波数帯域になります。

HIGH CUT FILTER



LOW CUT FILTER

